

WaCa-P

2016年
1・2月号 Vol. 65

Wakayama Culture and Arts POWER

木彫家 城所ケイジ
紀州の杉を生かし
森を育むアート

【名匠を訪ねて】

Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県文化表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 名匠を訪ねて…6
- 輝く、和歌山人…7
- カルチャーインフォメーション…8

木彫家・城所ケイジさん
チェンソーで丸太を彫刻するチェンソー
アートの第一人者。制作過程はパフォー
マンスとしても人気を集めます



artist message

アーティスト メッセージ

その日その時の出会いを大切に舞台に上がることを心がけています。

3月2日(水)に和歌山県民文化会館で「野村萬斎 狂言会」開催されます。一期一会を大切にしているという萬斎さん。今回の和歌山公演の見どころをお聞きしました。

Q 狂言の魅力とはどのようなところで
しょうか。

A 狂言は人間讃歌の劇とも言われていて、人間の日常生活の中のふとした出来事が描かれています。そそっかしい家来や夫を叱り飛ばす妻、世間知らずな聟(むこ)やお金に執着してしまう僧など、その姿は現代社会においても見回すと身近に一人や二人いそうな親しみを持てる登場人物たちです。観ているみなさまもいつの間にか共感を覚え



photo:政川憲治

狂言師
野村萬斎さん
のむら まんさい



1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通じ狂言の在り方を問うている。世田谷パブリックシアター芸術監督。

るのではないか。それがヒューマン・コメディ 狂言の大きな魅力だと思っています。

Q 狂言師として今の時代に求められている役割とはどのようなものだと思われますか。

A 狂言は能と共にユネスコの世界無形遺産に認定されていますが、博物館のガラスケースに並んでいる宝物ではなく、生きている人間が演じる芸能です。現代に生きる狂言をより多くのみなさまに知ってもらえるよう努力すること。さらに狂言で培ってきた身体や発想をさまざまな場面に生かし、挑戦していくことが私の役割なのかなと思っています。

Q 今回の「小傘(こがらかさ)」は中世のどかな様子が描かれているようですが、見どころをお聞かせください。

A 「小傘」は、借金で首の回らなくなった主従が僧に化けて、お布施をかっさらお

うとするお話です。無一文になってしまたかに生きていこうとするバイタリティ、その逞しいエネルギーをみて感じてほしいですね。

Q いつも舞台に上がる際に心がけていることがあればお聞かせください。

A 狂言は、歌舞伎や商業演劇などと違って1日1回公演が基本です。国内外のさまざまところで公演していて、たまたま今、12月10~12日はニューヨーク公演中ですが、一期一会、その日その時のお客様との出会いを大切に舞台に上がることを心がけています。狂言を観て、明日も元気に生きていこうと思って頂けたら、それはとても嬉しいことです。

Q 最後に観劇に来て下さる皆様へのメッセージをお願いします。

A 和歌山公演は、3年ぶりでしょうか?久しぶりにみなさまにお目にかかるこを楽しみしております。

※インタビューは、平成27年12月14日に行われたものです

3/2 水 野村萬斎 狂言会

【チケット販売中】

- 日本のみならず世界にも活躍の場を広げている野村萬斎が3年ぶりに和歌山で公演を行います。わかりやすい解説付き狂言会。
- 開演／午後6時30分(開場／午後6時)
 - 場所／和歌山県民文化会館大ホール
 - 入場料／5,500円(小・中・高生2,700円)、二等席4,500円(小・中・高生2,200円)、三等席3,500円(小・中・高生1,700円) ※全席指定 ※未就学児入場不可
 - お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

【演目(予定)】解説、附子(ぶす)、小傘(こがらかさ)



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

平成26年度 和歌山県文化奨励賞

岡崎団七踊保存会(おかざきだんしちおどりほぞんかい)

和歌山市岡崎地区で約200年受け継がれる「団七踊り」。例年、西熊野神社(和歌山市西)で行われる盆踊りで、地域住民によって披露されている。昭和34年、和歌山県の無形文化財に指定されたのを機に保存会が発足。平成27年11月には岐阜県郡上市で開催された第57回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会に出演した。現在も中心メンバー約25名の他、地域の人々が参加して継承に努めている。



「岡崎団七踊りは、江戸時代に奥州白石(現宮城県白石市)で起こった事件を踊りで表現したものです。農民の姉妹が悪代官の団七に斬りかかり、父親の仇討ちを果たした話が題材になっているんですよ」。岡崎団七踊保存会の会長、西谷暢浩さんはそう話します。

姉妹による仇討ちは当時の民衆の心をつかみ、様々な芸能となって伝播していきました。青森から沖縄までの全国各地で、盆踊りや田植え踊りなどで盛んに演じられてきたそうです。

岡崎地区に「団七踊り」を伝えたと

されるのは、紀州藩主の参勤交代に随行した岡崎の郷士たち。江戸で見た歌舞伎や淨瑠璃で姉妹の仇討ち事件を知って感激し、そのストーリーを持ち帰って踊りに仕立てたと考えられています。

「岡崎団七踊り」の構成は「さらし踊り」「薙刀踊り」「団七踊り」の3部で、やぐらの上から音頭取りやお囃子、鉦(かね)、太鼓、拍子木(ひょうしき)が盛り上げます。「団七踊り」の踊り手は団七役の男性1人と姉妹役の女性2人が1組となり、やぐらを中心に何組もが回ります。団七は刀、

姉は薙刀(なぎなた)、妹は鎖鎌(くさりがま)を手にして踊り、「3人の踊りがそれぞれ違うので、なかなか難しいんですよ」と西谷さん。

夏休みは20名ほどの小学生が「こども教室」に参加して練習に励むとか。「以

前は周辺の集落でも団七踊りが踊られていた。この地区で途絶えることなく受け継がれているのは、コミュニティの結束が強かったからでしょう」と話すのは音頭取りを担当する岡本正宏さん。

鉦を担当する今西和子さんは「さらし踊りや薙刀踊り、団七踊りもすべて女性が中心になる踊りです。私も幼い頃から姉や妹の役で踊りました。鉦の音が聞こえたら嬉しくて走って踊りに行きましたよ」と目を細めます。

興味深いのは仇討ち事件の舞台である宮城県白石市に団七踊りが伝わっていなかったこと。「白石市の方から教えてほしいと頼まれて出向いたこともあります。今ではあちらでも踊っていますよ」と西谷さん。

「こういう民俗芸能はいったん絶やしてしまうと、復活させるのは難しい。保存会の中心メンバー多くは70代になり、今後どう継承していくかが課題ですが、ぜひとも残していきたいですね」。幹事を務める今西守夫さんはそう話します。

今年のお盆も西熊野神社の境内で、伝統の踊りが賑やかに繰り広げられる予定です。



紀州藩主の参勤交代に随行した岡崎の郷士たちが「団七踊り」を伝えたとされます

1/10(日) 第2回 和歌山ジュニア芸能祭

青少年の芸術文化の創造と発展を目指し、日頃の成果発表の機会を提供することを目的に開催します。

【出演団体】

和歌山ジュニアオーケストラ(和歌山市)
勇気出し亭うな晴 わかやま楽落会(和歌山市)
和歌山市立貴志中学校 合唱部(和歌山市)

和歌山県立橋本高等学校 邦楽部(橋本市)
開智中学校・高等学校 ア・カペラ部(和歌山市)

- 開演／14:00開演(13:30開場)
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料／無料(全席自由)

※満員の際は入場制限がございます。

1/30

けんぶん寄席 笑福亭福笑 落語と仏教よもやばなし ～仏教その心を伝える～

【チケット販売中】

上方落語を代表する笑福亭一門の中から笑福亭福笑師とその直系弟子の笑福亭たまによる落語。同師と親交の深い、岩出市在住の画僧でありコラムニストでもある牧宥惠師の講話ををお楽しみください。

出演

笑福亭福笑(しょうふくていふくしお)

六代目笑福亭松鶴に入門、笑福亭仁鶴・鶴光(つるこ)に次ぐ高弟。松鶴一門の中では爆笑派で、古典落語・新作落語の両方を得意としている。

笑福亭たま(しょうふくていたま)

福笑に弟子入りで唯一残る直系弟子。ラジオ・パーソナリティをはじめキレイのいい話ぶりは、師匠と好対称。

■開演／午後2時(開場／午後1時30分)

■場所／和歌山県民文化会館小ホール

■入場料／前売2,500円、当日3,500円

※全席自由 ※未就学児入場不可

牧宥恵(まきゆうけい)

日大芸術学部を中退し、美学校細密画工房を経て図鑑等の細密画の世界に身を置くが、独学で仏画の独習に専念する。1978年根来寺境内に画房を構え、以降、伝統仏画と三昧画の制作にあたる。同時に、個展、講習会、カルチャーセンターの講師など、多彩な活動を行っている。

2/19

プレミアムクラシックコンサート Vol.3

アコースティック・デュオ NAOTO&清塚信也

【チケット販売中】

昨年デビュー10周年を迎え、ますます進化を続けるポップ・ヴァイオリニスト NAOTOと昨年放送のTBS金曜ドラマ『コウノドリ』でピアノテーマ、監修を手掛けたマルチピアニスト 清塚信也のアコースティック・デュオ コンサートです。

※CDご購入の方には、ご本人直筆のサインプレゼント!

【演奏予定曲目】

- ・「HIRUKAZE」(NHK[スタジオパークからこんにちは]テーマ曲)／NAOTO
- ・「星に願いを」／リー・ハーライン
- ・「愛の喜び」／クライスター
- ・ガーシュウィン・メドレー／清塚信也編
- ・「Baby, God Bless You」(TBS系金曜ドラマ『コウノドリ』メインテーマ)／清塚信也 ほか

■開演／午後7時(開場／午後6時30分)

■場所／和歌山県民文化会館小ホール

■入場料／5,000円(全席指定)※未就学児入場不可



2/21

～和歌山県新人演奏会出場者による～「第10回音の杜コンサート」

和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を継続され活躍中の方々による誰もが気軽に楽しめるクラシックコンサートです。

【出演(予定)】[ピアノ] 反保美咲／[木管アンサンブル]フルート:田原真理、クラリネット:浅井由貴、オーボエ:榎本理沙、ピアノ:高山陽子／[箏]植野由美子／[ソプラノ]上島幸恵

■開演／午後2時(開場／午後1時30分)

■場所／和歌山県民文化会館小ホール

■入場料／一般1,000円、

高校生以下500円

※全席自由 ※未就学児入場不可

※1月上旬から販売(予定)

第69回 和歌山県美術展覧会 地方展

県内における美術文化の向上と発展に資するために開催します。

地方展

橋本展

■1月13日(水)～1月17日(日) 10時～17時

■和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

上富田展

■1月20日(水)～1月24日(日) 9時～17時

■上富田文化会館(上富田町朝来758-1)

■お問い合わせ先／和歌山県庁文化国際課 県展担当 TEL.073-441-2050

※地方展は華道の展示は行いません

第1回 和歌山県ジュニア美術展覧会

地方展
入賞作品

橋本展

■1月13日(水)～1月17日(日) 10時～17時

■和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

上富田展

■1月20日(水)～1月24日(日) 9時～17時

■上富田文化会館(上富田町朝来758-1)

■お問い合わせ先／和歌山県庁文化国際課 ジュニア県展担当 TEL.073-441-2052

2/28 「稻むらの火」より162年 写真と朗読による構成劇 忘れない！

1820年(文政3年)、「稻むらの火」で知られる濱口梧陵は、紀州広村(現在の広川町)で生まれました。安政の大地震時、稻むらに火を放ち、津波から多くの村人の命を救った功績は、津波防災の象徴として広く語り継がれています。この催しは阪神淡路大震災から東日本大震災、紀伊半島大水害などを含めた写真をスライドにし、劇団RAKUYUや和歌山放送朗読教室メンバーらが詩や稻むらの火の物語を朗読します。追憶と祈りの集いを主題とした、写真と朗読による構成劇です。

- 脚本・監修／栗原省
- 演出／松本こうじ

- 開演／午後2時30分
(開場／午後2時)
- 場所／海南市民交流センター
- 入場料／一般1,000円
(当日1,300円)
- ※全席自由
- ※未就学児入場不可



※1月下旬から販売(予定)

2/14 入門講座 プレイイベント

2月28日の公演は、劇の中で濱口梧陵の偉大な功績も紹介されます。その催しにちなんで稻むらの火の館の崎山光一館長と劇の作者・栗原省氏より、梧陵の偉業を多様な面から紹介します。

- 開始時間／午後2時 ■場所／稻むらの火の館内 3F会議室
- 入場／団体で入館します ■受付日／1月22日(金)午前10時から電話で受付
- 定員／50名(定員になり次第締め切ります)
- お申し込み先／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331
稻むらの火の館 TEL.0737-64-1760

3/13 第2回県民文化ステージ

県内の文化団体が集まり、日頃の成果を皆さんに広く紹介する県民参加による芸術文化の祭典を行います。



左からEnsemble Mikanier、ソレイユ バレエ(Photo:テス大阪)、バレエスタジオ ティアラ

【出演団体】

エスカルゴなギター
Ensemble Mikanier
長唄 栄七珠の会
武術太極拳 チーム ティエラ
ハワイアンフラサークル Olu Olu Kamanao
ソレイユ バレエ
バレエスタジオ ティアラ

- 開演／午後2時(開場/午後1時30分)
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／無料(全席自由)

※満員の際は、入場制限がございます

3/21 南こうせつコンサートツアー 2016～緑の旅人～

かぐや姫からソロ活動を経て、デビューから45年を迎えた南こうせつ。フォークソング界に強烈なインパクトを与え、数々のヒット曲は幅広い世代から絶大な人気を博しています。心に染み渡るあの名曲と新曲を織り交ぜ、ユーモアたっぷりのトークでお贈りするコンサートをお見逃しなく!



- 開演／午後5時(開場／午後4時30分)
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／一律6,000円 ※全席指定 ※未就学児入場不可
- 【チケット販売について】
■けんぶん友の会優先電話予約／1月12日(火)午前10時から
- 一般プレイガイド発売／1月23日(土)午前10時から

主催

和歌山県

主催・お問い合わせ

(一財)和歌山県文化振興財団(和歌山県民文化会館)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335



名匠を訪ねて

県内で活躍される名匠の方々の
創作現場をシリーズで辿ります。

◆木彫家 きどころ けいじ 城 所 ケイジ

紀州の杉を生かし、森を育むアート

私が木彫家の道を歩みだしたのは15年ほど前のこと。愛知県の山間部で団体職員をしていた時、林業活性化のためにチェンソーアートの競技大会を企画したことがきっかけでした。あれが人生の転換期でしたね。

プロとなって龍神村に移住してからは、龍の彫刻を手がけることが増えまし

た。図面を描かずに彫り始めますが、木の中に龍の姿が何となく見えてくる。長年の経験から、見抜く目が養われてきたのだと思います。

素材は紀伊山地の杉の木で、市場で競り落として仕入れます。「ただあげるよ」と言ってくれる山主さんもいますが、私は買わせてもらいます。きちんと対価を支払

うと山主さんも森林の整備ができるでしょう。その循環を絶やしたらダメなんです。

チェンソーアートは環境破壊のイメージを持たれることもありますが、森を再生させるには木材の需要を高めていくことが大切です。できるだけ木を活用し、山や森が健やかになるように。そんな想いを持ちながら創作活動を続けています。

第44回和歌山県新人演奏会 出演者募集

.....オーディション開催日 4/29(金・祝)

音楽を学ぶ優秀な若人を広く県民に紹介し、本県の音楽文化の振興と向上を図るために和歌山県新人演奏会を開催しています。本年は7月9日(土)午後1時より和歌山県民文化会館大ホールで開催します。この演奏会に出場を希望される方々のオーディションを次の要領で募集します。多くの皆様方のご応募をお待ちしています。

【募集要項】

- オーディション開催日時／4月29日(金・祝)午後1時開始予定
 - 開催場所／和歌山県民文化会館大ホール
 - 参加料／無料(公開オーディション)
 - 応募資格／年齢が20歳以上35歳以下(平成28年4月1日現在)の方で、本県の出身者・在住者・勤務者・在学生・卒業生
 - 演奏部門／クラシック部門(声楽・器楽・作曲・邦楽)
- ※この事業は、内容、スケジュール等、変更する場合があります。
詳しくは、下記お問い合わせ先まで。

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 新人演奏会係
TEL: 073-436-1331 FAX: 073-436-1335
<http://www.wacaf.or.jp> Eメール: wacaf@wacaf.or.jp

輝く、 和歌山人

和歌山県内をフィールドに、
文化、スポーツなど
あらゆるジャンルで活躍する人を
紹介します。



PROFILE

ふじわら・まちこ
●昭和24年3月
大阪府出身、和歌山市在住。父の影響で民謡に興味を持ち、25歳で日本民謡梅若会に入門。平成6年に梅若流師範取得。第20回日本民謡フェスティバル初出場でグランプリ獲得。現在、和歌山県民謡連合会事務局長として後進の指導にあたる。



和歌山県民謡連合会事務局長
藤原 真千子 (梅若朝真紀)さん FUJIWARA MACHIKO

「紀州路民謡を謡い継ぐことで和歌山を全国にPR」

— 民謡の魅力とは？

藤原 ● 古くから謡い継がれてきた民謡。海の唄から山の唄、仕事の唄から遊びの唄までさまざまなものがあり、それぞれ地域で口伝いに謡われてきました。地元の名所や特産といった馴染みの言葉もふんだんに盛り込まれ、謡う人にとっても聴く人にとっても、心に情景が浮かびます。また一方で、民謡はお国自慢の唄であり、宣伝としてのPR効果も抜群。謡って、聴いて、触れて、どこからでも楽しめるのが民謡です。

— その中において「和歌山県民謡連合会」の役割とは？

藤原 ● 現在、県下には11の民謡関係団体があり、民謡という伝統文化の活性化に努めています。もう一つ大きな役割として、県下に埋没する民謡の発掘、さらにそれを伝承し、保存・普及することにも貢献しています。和歌山で謡い継がれた民謡は600以上ともいわ

れています。今まで謡われてきたものから、時代とともに消えたものまで、合わせるとその音源は数えきれないほど。「有田みかん摘み唄」や「串本節」など、全国区で人気のものもありますが、一つ一つの唄を大切に、全国に世界に、和歌山の良さを、民謡を通して伝えていきたいと思っています。

— 活動の中心でもある「紀州路民謡全国大会」が近づいてきました。意気込みを教えてください。

藤原 ● この大会は、和歌山発の全国大会として平成15年から開催してきました。次の2月28日(日)で13回目を迎えます。京阪神を中心に東京など全国から参加者が増え、大人から子どもまで、前回のエントリー数は約170人。ここ数年、大会開催の要因もあって紀州路民謡も全国的に広がり、ただ謡うだけでなく、唄の背景に情景が浮かぶような実力者が増えてきました。参

加者の皆さんそれが、唄の舞台となつた場所を見て、感じることで、より一層身近に、唄の意味を深く理解してくれているからです。連合会のメンバーも準備万端、しっかりと力をためて参戦します！

— さらに本年10月には「紀州民謡第3集」のCD発売も控えていますね。

藤原 ● こちらも大切な活動の一つです。眠っている民謡を掘り起こし、譜面にし、奏でて、伝える…そのすべてをCDで形にできるからです。1枚約20曲、第3集でようやく60曲程度。まだまだこれからですね！

和歌山県発 第13回 紀州路民謡全国大会

● 開催／2月28日(日) ● 会場／和歌山県民文化会館小ホール ● 時間／9:30開演(9:00開場) ● 内容／和歌山県民謡のコンクール予選・決勝ほか。ゲスト小沢千月、国村千鳥。 ● 料金／入場無料 ● お問い合わせ／紀州路民謡全国大会実行委員会 TEL.073-477-3502

和歌山県立近代美術館便り

生誕110年 村井正誠(むらいまさなり)展 ひとの居る場所

岐阜県に生まれ、和歌山県新宮市で育った村井正誠(1905~1999)。同郷の西村伊作が創設した文化学院に学び、1928年に渡仏。日本の抽象絵画の先駆けとなる作

品を生み出しました。一貫して「人の居る場所」を描き続け、力強い存在感と観る者の心を捉える魅力にあふれています。その初期から晩年までの作品を紹介します。

【会期】開催中～2016年2月14日(日) 【開館時間】9時30分～17時(入場は16時30分まで)
【観覧料】・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説)1月17日(日)、1月31日(日)14時から2階展示室にて
・2月14日(日)14時より 講演会「ひとの居る場所 村井正誠と抽象絵画」講師：植野比佐見(当館学芸員)
※イベントの日程や内容について、詳しくは当館ホームページまたは、お電話でお問い合わせください。
■和歌山県立近代美術館ホームページ <http://www.momaw.jp/> ■お問い合わせ / TEL.073-436-8690

村井正誠《母子像》1951／油彩、キャンバス



カルチャーインフォメーション

万葉館

073(446)5553

万葉洋画展

■1月14日(木)～3月31日(木)
※最終日は15:00まで

和歌山で活動している洋画グループ「粹洋会」の皆さんの作品を展示します(10号: 28点展示予定)。



古典学習セミナー『源氏物語を楽しむ～夕顔～』全3回

■2月21日(日)、28日(日)、3月6日(日) 14:00～15:30

■受講料／300円(資料代／1回) ■定員／先着20名(要申込・小学生は保護者同伴) ■講師／金田圭弘(近畿大学附属和歌山高等学校教諭)

■和歌山市和歌浦南3丁目1700 □9:00～17:00(入館は16:30まで)
休無(年末年始12/29～1/3及び設備機器等点検日を除く) ■入館無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

073(471)6123

冬期企画展 くらしと漆器
～紀伊風土記の丘収蔵品展～

■1月13日(水)～2月21日(日)

暮らしの中で用いられてきた漆器の膳や椀などをはじめとして、当館に収蔵される漆が施された道具を紹介します。



■和歌山市岩橋1411 □9:00～16:30(入館は16:00まで)
休月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ■一般190円、大学生90円

和歌山県立自然博物館

073(483)1777

第10回 クイズで楽しむ自然博物館！

■1月24日(日) 9:30～17:00

館内の展示や展示パネルをじっくり見ればわかるクイズを30問出題。全問正解者には「自然博物館クイズマスターの証」を、その他の方には正解数に応じた「級」の認定証をその場で差し上げます。

■参加対象／小学生以上 ■費用／無料(別途入館料が必要) ■用意するもの／筆記用具・下敷きなど ■参加申込／開催日当日当館にて受付



■海南市船尾370-1 □9:30～17:00(入館は16:30まで)
休月曜(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日 ■一般470円

5/12(木)

リチャード・クレイダーマン2016
withストリングス・トリオ & パーカッション

■主催・お問い合わせ／(一財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331

年のはじめに

あけましておめでとうございます。

昨年、話題となった事の一つに五郎丸選手のキック前に行う“五郎丸ポーズ”に注目が集まり、ラグビーへの関心と多くの皆さんに感動を与えました。

当財団は、“感動空間♥文化で元気!!”というキャッチフレーズで多くの皆さん方に感動を与えられるよう邁進してまいりますので、本年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

【発行日】平成28年1月

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】<http://www.wacaf.or.jp>